

創刊にあたって

愛知県公文書館長 田中 宏之

愛知県公文書館は、歴史的価値のある県の公文書その他資料を収集、整理及び保存するとともに、その活用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与することを目的として、昭和六十一年七月に開館しました。

当館では、愛知県の公文書のほか、明治十七年に作成された地籍図・地籍帳や、廃藩置県前の名古屋藩庁の文書など、幕末から昭和初期にかけて作成された資料等を所蔵しております。また、愛知県史五八巻の編さん事業（平成六年四月―令和二年三月）の終了に伴い、令和二年四月、旧県史編さん室から当館に一〇〇万点を超える県史収集資料が引き継がれたところです。

県史収集資料は、本県における近世を中心とした歴史資料を網羅的に収集したもので、その多くは複製ですが、再収集は困難であると言われております。当館としては、こうした貴重な資料を後世に残すべく、目録作成、デジタル化等の整理作業を進め、許可を得られたものについて、令和二年十二月から、当館の所蔵資料として順次公開しております。

そして、この県史収集資料の引継ぎを契機として、同資料を含め本館所蔵の歴史資料を多くの方々に活用していただくことにより、本県の歴史に関する学術研究の更なる推進を図ることを目的として、このたび、愛知県公文書館研究紀要を創刊することとしました。

本館の研究紀要は、隔年での発行を予定しておりますが、公募した論文等を掲載する形をとっておりますので、本県の歴史に関する調査活動や研究成果の発表の場として活用していただくとともに、より多くの方々に本県の歴史に関心を持っていただくことを願っております。

最後に、本研究紀要に論文等を応募していただきました皆様、査読をお引き受けいただきました皆様、ならびに編集委員の皆様にご心より感謝申し上げます。